



第1190号
2021.04.15
編集部発行
Tel 436-6820

WTU
編集部

組合員配布

四月十五日(木)
午後六時三〇分
【分会長会議】をします。
勤労者総合センターです。

【現場の声を確実に行政に届ける立場】

昨年度の今頃は、緊急事態宣言下での臨時休業期間。着任初日から多くの現場の声が組合事務所へ届き、毎日、日によれば一日に複数回、市教委や県教委に駆けつけました。それぞれの教育現場も混乱していましたが、組合事務所の新任書記長も混乱し、右往左往していたのでありました。「コロナ禍もそうだけど、こんな日々がいつまで続くのだろうか」と不安を抱きながらもトップギアで走り続け、あつという間に新学期。私の場合は、『新たにスタートした』という気分ではありません。『二週目に入った』という気分です。

仕事に対する多少の「慣れ」はあるものの、現在も状況は変わっておりません。しかし、組合員さん一人ひとりの声が、和歌山の教育のために役立っているという実感を何度も味わうことができた二〇二〇年度でした。困っていることを「困っている」、分からないことを「分からない」、「もつと」うすればいいの」と誰かが言わなければ、何も前進しません。その「声」は自分だけの声ではありません。声には出さないけれど心の中で感じている人、組合員でも、組合員でない人でも、同じことを思っている人がきつといるはず。各職場を代表して、勇気を出して【現場の声】を組合事務所に届けてください。私は確実に行政に届けてまいります。

子どもたちの権利とゆたかな学びを保障するため、安心して働ける職場をつくるため、二〇二一年度も、ごしし組合を活用してください。よろしくお願ひします。

【日教組につながる全国ネットワーク】

わたしたち日教組和歌山は、日教組【日本教職員組合】に加盟しています。日教組は、一九四七年六月八日に奈良県橿原市で結成された日本最大の教職員労働組合連合体なのです。現在、全国に二十二万三千人の仲間がいます。本来は、全国の仲間と学び合える機会がたくさんあるのですが、昨年度はコロナ禍により、教研(きょうけん)教育研究集会)の機会は少なかつたし、県をまたいでの参加も困難な状況にありました。今年の在り方に期待してください。

私たち日教組和歌山も、教育実践を持ち寄り学び合える場ではなくてはなりません。新規採用者の組合員さんや、担任を任されている講師組合員さんが増えていきます。今年は、昨年できなかった日教組和歌山の教研をやりたいと思っています。



星槎大学 教員免許状更新講習

日教組和歌山は、星槎大学(せいさだいがく)と連携しています。今年、教員免許状を更新したい組合員さん、もういませんか? 組合員限定のお手軽な免許状更新講習(34,000円)です。

第一次×切までに申し込んでくださった7人は、もう手続きが開始しています。第二次×切は、4月30日(金)です。今からでも十分に間に合いますので、組合事務所までご連絡ください。今のところ二次募集でお1人申し込んでくれています。

※今回のみ、コロナ禍の影響で、2021年度内限定特例措置(文部科学省認可)で、通信講習(在宅郵送方式)です。いわゆる【宿題】です。1,000字のレポートを2本、1,600字のレポートを1本提出し、最終試験も、【特例在宅郵送試験】です。期日さえ守っていれば、「成績通知書」と「履修証明書」が手に入ります。

二次募集×切4月30日(金)

日教組和歌山ホームページを作りました。ここから、いろいろな情報発信をしていきます。

<https://jtu-wakayama.com/>

または、『日教組和歌山』で検索してください。』

←ウラも読んでください。

こが
古賀ちかげ

子ども 暮らし 平和



日教組は、第26回参議院議員選挙(2022年7月)候補予定者として『古賀ちかげ』さんを推薦決定しています。ご存じのように、教育に関する『法律』は『国会』で作られます。だから、教職員出身者の【につせいれん(日本民主教育政治連盟)議員】を組織内にもつことが絶対必要なのです。